

## News Release

2012年4月27日

### 東京スター銀行 国内最大級の技術者派遣会社テクノプロ HD の MBO ファイナンスを実施

～取引先のMBOを支援すべく、リード・アレンジャー兼エージェントとしてファイナンスを組成～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 入江優、以下「東京スター銀行」)は2012年4月27日付で、テクノプロ・ホールディングス株式会社(東京都港区、代表取締役 CEO キース C. ミッチェル、以下「テクノプロ HD」)を新持株会社とする、国内最大級の技術者派遣会社グループのマネジメント・バイアウト(MBO)\*を支援するため、マンデートド・リード・アレンジャー(MLA)兼エージェントとしてファイナンスを組成、実行いたしました。

テクノプロ HD は、株式会社シーテック(以下「シーテック」)、株式会社テクノプロ・エンジニアリング、株式会社 CSI、株式会社ハイテック、および株式会社エヌ・アンド・シーの 5 社を中核として構成されています。グループ全体で 10,000 名以上の技術社員を有し、国内最大級の技術者派遣会社として、多分野で企業の技術開発をサポートしています。

本件は、世界最大級のプライベート・エクイティ会社である CVC グループのアジア太平洋拠点である CVC Asia Pacific Limited(以下「CVC」)が助言するファンドならびに経営陣の出資により実施された MBO\*であり、東京スター銀行が MLA 兼エージェント、株式会社新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 当麻茂樹)が MLA としてファイナンスを組成いたしました。

また、グループのバックオフィス機能を提供していたプロンプトホールディングス株式会社(以下「PHD」)は、従業員および事業活動に必要な全資産を、テクノプロ HD へ引き継ぎました。PHD は、2009 年 10 月に成立した事業再生 ADR 手続きにおける事業再生計画に基づき債務を返済しておりましたが、本件により外部金融機関からの ADR 債務を全額期限前返済し、履行しています。新体制となるテクノプロ HD は、CVC グループによる豊富なグローバルネットワークの活用を含めた支援も受け、グループ企業間のシナジーをより高め、顧客満足度の最大化ならびにさらなる成長を目指しています。

当行は、2010年9月に、グループ中核のシーテックと融資取引を開始しており、シーテックの取引銀行として本件をサポートするとともに、引き続き、新体制となるテクノプロHDの成長を支援して参ります。

東京スター銀行は、今後とも、専門性の高い投資銀行業務を通じ、中堅・中小企業のお客さまの資金調達をサポートするとともに、商業銀行の機能も併せ持った「ハイブリッド・バンク」を目指して参ります。

以上

\* マネジメント・バイアウト(MBO)

会社の経営陣が、所属している企業もしくは事業部門を買収することをいいます。オーナーではない経営者が、事業の継続を前提にオーナー(親会社)から株式を購入し、経営権を取得するような例があげられます。